

支援部だより No.5 令和元年10月

2学期が始まり、1ヶ月がたちました。2学期は沢山の行事があり、いつもと違う時間割で活動に取り組むこともあります。今回は、予定変更があった時に児童生徒が安心して、次の活動に取り組む事ができるための支援の事例を紹介したいと思います。

中学部2年生宿泊学習

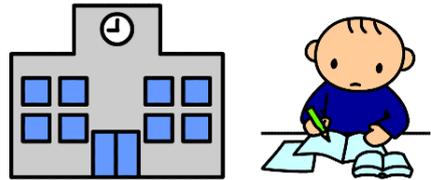
6月に中学部2年生の校外宿泊学習(和歌山市方面)が予定されていましたが、台風接近による荒天予報のため、安全を考慮して延期となりました。とても楽しみにしていた宿泊学習だったので、生徒のみんなはとてもがっかりしていましたが、延期の日を楽しみにできるように、まずは**延期の理由を丁寧に説明**しました。

イラストを入れて
イメージを持ちやすく

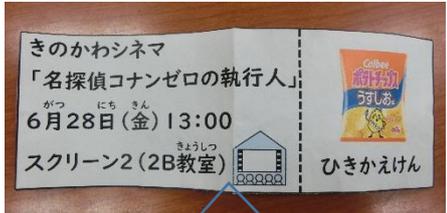
あす 明日からの宿泊学習は……
台風がくる可能性があるので
9月に延期です



あす 明日は学校で授業をします。



このスライドを見て先生からの説明を聞いた生徒は、「え~!!」と言っていましたが、最後には「そっか~仕方ないなあ…。」「楽しみが9月までのびたなあ」等とみんなそれぞれが、延期の理由を理解し、受け入れることができていました。当日は、みんなの残念な気持ちが少しでも軽くなるように、特別活動の時間に変更して、みんなで映画鑑賞を計画しました。



きのかわシネマ
「名探偵コナンゼロの執行人」
6月28日(金) 13:00
スクリーン2(2B教室) ひきかえけん

2つの映画の中から
みんなそれぞれ好きな
映画を選びました。

選択肢があることも大切!



急な予定変更等がある時には、音声、文字、イラスト等で丁寧に理由を伝え、全員が納得できることを目指します。残念な気持ちが、次の楽しみにつながったり、自分自身の気持ちに折り合いをつけたりできるよう、配慮することが大切です。

2学期が始まって、みんなが楽しみにしていた宿泊学習に無事行くことができました。子ども科学館や和歌山県の伝統工芸品である手まり作りの体験を行い、ホテルでは友だちと一緒に楽しい時間を過ごすことができました。

